

海外事情研究所主催・高大連携事業

夏季世界史セミナー ―世界史の最前線 XVIII―

日時:2026年7月30日(木)~7月31日(金)

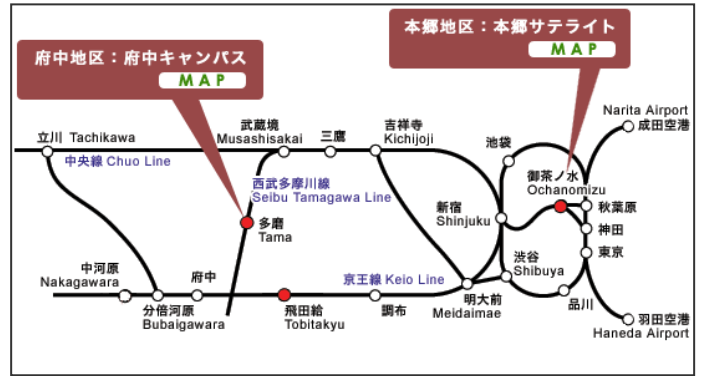
開催方法:対面式と遠隔式(Zoom 利用の同時配信)の併用

1 日 目 (木)	7 月 30 日	9:30~10:00	会場受付/Zoom 入室
		10:00~10:10	開会挨拶・事務連絡
		10:10~11:20	講義 1 「宗教からみるアメリカ合衆国：福音派に注目して」(仮) (佐藤 清子)
		11:20~11:30	休憩 (10 分間)
		11:30~12:40	講義 2 「近現代史の展開から見るパキスタンの政治・社会・国際関係」(仮) (登利谷 正人)
		12:40~13:40	昼休み
		13:40~14:50	講義 3 「ロシアの世論の「保守化」と歴史認識」(仮) (鈴木 義一)
		14:50~15:00	休憩 (10 分間)
		15:00~16:10	講義 4 「巨大国家の社会統合：帝国・革命・デジタル化に見る中国」(仮) (澤田 ゆかり)
		16:10~16:20	事務連絡など
2 日 目 (金)	7 月 31 日	本学博士後期課程の院生によるワークショップ 「各自の研究分野と世界史教育・教科書との接合について」	
		9:00~9:30	会場受付/Zoom 入室
		9:30~9:40	ワークショップ趣旨説明・事務連絡
		9:40~10:20	報告 1 「〈南部〉から見る近現代イタリア：農民運動を事例に」(仮) (小林 史緒)
		10:30~11:10	報告 2 「19 世紀チェコ音楽史研究の現状：スメタナ、ドヴォジャークを例に」(仮) (高宮 理彩子)
		11:20~12:00	報告 3 「近代オスマン帝国の“近代化”とは？：帝国末期の特権問題を考える」(仮) (村田 七海)
		12:00~13:00	昼休み
		13:00~13:40	報告 4 「第一次世界大戦後における女性医師の国際的ネットワーク：ドイツ青少年福祉の共有」(仮) (岩間 有希奈)
		13:50~14:30	報告 5 「地域社会から捉える東欧でのホロコースト：リトアニアの事例を中心に」(仮) (紺谷 南)
		14:40~15:20	報告 6 「社会主義体制とファッション：第二次世界大戦後のユーゴスラヴィアの事例から」(仮) (船木 佐紀野)
		15:20~15:40	休憩
		15:40~17:00	各報告への質疑、フロアディスカッション
		17:00~17:10	閉会挨拶

「世界史セミナー XVIII」参加条件・申込み方法等

■日程:2026年7月30日(木)、31日(金)
午前・午後(全二日間)

■会場:東京外国語大学 府中キャンパス
(東京都府中市朝日町 3-11-1)
西武多摩川線「多磨」駅より徒歩5分、
又は京王線「飛田給」駅よりバス
(右・右下の地図をご参照ください)



■対象:高等学校、予備校の地歴科(世界史・日本史)担当教員
ならびに本学の大学院生(授業の一環です)。
その他、大学教員・大学生、及び高校生の皆さんのご参加も広く歓迎いたします。

■応募方法:下記リンクよりGoogleフォームをご記入ください
<https://forms.gle/4gqUmAsYEHQ1Yx7D7>
(右のQRコードからもGoogleフォームを開けます)→→→→→→→
(※7月下旬まで申込可能ですが、お早めをお願いいたします)
(※なお、対面式の参加で宿泊が必要な方は、事前に宿泊先を
確保された上でお申し込みください)



■お問い合わせ先
海外事情研究所 所長: 真島一郎
メールでのお問い合わせ先: ifa[at]tufs.ac.jp
([at]を@に変えてください)

■企画・運営:
東京外国語大学・海外事情研究所
(<http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ifa/>)

